

2019 年度秋学期研究者交流支援制度招聘プログラム実施報告書

商学部専任准教授 姚俊 (Yao, Jun)

招聘者 : Professor Ulf Johanson

所属機関 : Karolinska Institute, Institute of Environmental Medicine

招聘機関 : 10. 9-18, 2019

Prof. Johanson が所属しているスウェーデンのカロリンスカ医科大学の研究ユニットは「従業員の健康」を研究コンセプトとして、様々な分野の研究者が異なる視点から従業員の健康問題を取り上げ、研究を行っている。スウェーデンと同じように高齢化社会の問題に直面している日本では、従業員の健康を個人の問題より、経営の問題として取り上げて、健康向上を通して、企業の活力や生産性向上を図ることは重要な課題となっている。そのために、企業の健康投資と効果、健康経営のインセンティブ、健康経営の会計など基本的な課題を解明しなければならない。これらの研究課題について、将来一緒に共同研究を行うために、Prof. Johanson を招聘した。

滞在期間において、招聘者は Prof. Johanson と同行するカロリンスカ大学の研究者 2 人と一緒にトヨタ自動車本社や経済産業省などに訪問して、日本企業の健康経営について、パイロットインタビュー調査を行い、資料収集と意見交換を行った。

また、10月15日に明治大学駿河台キャンパスで、Prof. Johanson は「A general framework for designing & analyzing occupational health and safety」をテーマに特別講演を行い、同行している Dr. Emmanuel Aboagye は「Incentives for investing in occupational health and safety」についても、自らの研究結果も発表した。商学部の SDG s 研究グループの教員はこの研究会に参加し、質問とコメントによって、彼らと議論を深めた。

今回の企業や政府機関の訪問やワークショップなどを通じて、Prof. Johanson と一緒に研究プロジェクトのフレームワークを作成し、来年度の共同研究の研究計画を具体化することを図り、11月中旬に、具体的な研究計画書の案を作成する予定である。また、招聘教員は日本国内で情報を収集しつつ、文献レビューをしながら、次のインタビュー調査とアンケート調査の準備を進めていく予定である。